

授業科目名	開講年次	開講学期	講義種類	単位数	担当教員名
子ども家庭支援の心理学	2	前期	講義	2	森吉 里奈
○ 授業の到達目標及びテーマ					
1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。					
2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。					
3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。					
4. 子ども及び保護者の精神保健とその課題について、臨床心理学的に理解する。					
○ 授業の概要					
生涯発達の視点から人間の一生を概観する。また、家族の一生について学ぶ。子どもをもつ家族の多様性について触れ、その支援の実際について学ぶ。教科書に沿って講義は行うが、適宜、配付資料を用いる。					
※本授業は、准学校心理士取得に関わる科目である。					
○ 授業計画					
第1回：乳幼児期の発達					
【事前学修】シラバスを見て、授業の概要等を確認する。キーワード：生涯発達、自尊感情					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第2回：学童期の発達					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ライフサイクル、ギャングエイジ、第二次性徵					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第3回：青年期の発達					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ジェンダー、アイデンティティ、進路・職業選択					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第4回：成人期・老年期の発達					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：キャリアサイクル、認知症					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第5回：子育ての経験と親としての育ち① 「母性」「父性」から「養育性」へ					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：男女雇用機会均等法					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第6回：子育ての経験と親としての育ち② 産後うつ等					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：孤独、オキシトシン、聴くこと					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第7回：親子関係・家族関係の理解(ライフコースと仕事・子育て)					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：親としての発達、アタッチメント、システム理論					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					
第8回：多様な家庭とその理解① ひとり親家庭					
【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ひとり親家庭、ステップファミリー					
【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。					

第9回：多様な家庭とその理解② 貧困等

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：貧困、DV

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第10回：特別な配慮を要する家庭① ヤングケアラー

【事前学修】調べ学習をする。キーワード：ヤングケアラー

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第11回：特別な配慮を要する家庭② 障害のある子の保護者・外国籍家庭の支援

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害のある子の保護者・外国籍家庭の支援

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第12回：子どもの生活・生育環境とその影響① ネット依存

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：遺伝と環境、デジタル・メディア（ネット依存）

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第13回：子どもの生活・生育環境とその影響② 愛着障害

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：虐待、トラウマ、愛着障害

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第14回：子どもの心の健康に関わる問題① ストレスとストレスマネジメント

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：障害受容、ICF、ストレスとストレスマネジメント

【事後学修】授業で取り扱った内容の該当部分を見直しノート等にまとめる。

第15回：子どもの心の健康に関わる問題② ストレス反応

【事前学修】本時の調べ学習をする。キーワード：ストレス反応、心のケア、緘默、チック

【事後学修】定期試験に向けて、これまで学んだ内容を見直す。

定期試験

○ テキスト

「子ども家庭支援の心理学 演習ブック」 松本峰雄監修 ミネルヴァ書房

○ 参考書・参考資料等

資料を適宜配布する。

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○ 学生に対する評価

定期試験70%、レスポンスシート・受講態度30%で評価を行う。